

安心・安全な社会づくり

方針

安心・安全に関する基本方針

KDDIは、情報通信社会において、子どもたちが安心・安全にコミュニケーションを図れることを目的として、「青少年の安心・安全に関するKDDIの基本方針」を策定しています。

青少年の安心・安全に関するKDDIの基本方針

KDDIは、青少年が携帯電話やインターネットなどの通信サービスによるトラブルに巻き込まれることのないよう、さまざまな活動を行っています。

これからも、青少年が円滑なコミュニケーションを築きながら、安心・安全を実感できる社会の実現に取り組んでまいります。

活動・実績

安心・安全の啓発活動の実績

■ ジュニア向け安心・安全講座の実施「KDDIスマホ・ケータイ安全教室」

KDDI、沖縄セルラー電話、KDDIグループ共済会^(注)は、子どもたちがスマートフォンや携帯電話を安心・安全に利用するために必要なルールやマナーを理解し、自らの判断でトラブルに対処する能力を身に付けるために、「KDDIスマホ・ケータイ安全教室」を2005年度から全国で実施しています。

小学生、中学生、高校生、保護者・教職員の方々向けに2015年度は前年度比約17%増の計3,834回実施、約68万人の方にご参加いただきました。これにより、2005年度から2015年度末までの実施回数は



「産官学連携ケータイ教室」の様子

累計17,013回、受講者数は累計約305万人に達しました。

また、2015年度は一般社団法人ソーシャルメディア研究会、兵庫県警察、兵庫県内4市(相生市、たつの市、三木市、養父市)の教育委員会と連携し、地域一体での産官学連携講座を実施しました。講座に地域の状況を反映することで、子どもたちの情報リテラシーと、地域の安心・安全の向上に貢献することを旨としたものです。

講座実施前後に情報リテラシーに関するアンケート(計7問)を行い、講座受講によるトラブル回避傾向の変化について効果測定を行ったところ、全項目で改善が見られました。これを受け、2016年度もさらに規模を拡大して、産官学連携講座を開催していきます。

スマートフォンや携帯電話によるインターネットを利用した子どもたちのコミュニケーション方法は、年々、高度化・多様化しているため、動画による説明や題材の更新など毎年プログラムを見直し、子どもたちの意識をさらに喚起する教材の導入に努めています。

注 2015年度、KDDI株式会社、沖縄セルラー電話株式会社はKDDIグループ共済会と小中学校向け講座を共催しています。



■ シニア向け講座の実施「KDDIスマホ・ケータイ安全教室」

KDDIは、概ね70歳以下のシニアで、スマートフォンをまだ持っていない方や持っていて使い方がよく分からない方へ「シニア向けスマートフォンコース」「シニア向けタブレットコース」の講座を実施しています。

この講座では自治体と連携し、KDDI社員が講師として地域の施設にうかがいます。auのスマートフォンやタブレットを各受講者に1台ずつ貸し出し、実際の操作を投影した画面をご覧いただきながら、スマートフォン・タブレットの基本的な操作や、メール、インターネットの使い方などを体験いただきます。

2015年度は202回実施し、約3,200名の方にご参加いただきました。参加者の皆さまからのご要望を受け、2016年度からは「防災対策を学ぶコース」を新設します。

今後もシニアの皆さまが楽しく、かつ安心・安全にスマートフォンや携帯電話を有効活用できるよう、皆さまの声を傾けながら継続的にサポートしていきます。



「KDDIスマホ・ケータイ安全教室」シニア向け講座の様子

■ スマートフォンを用いた情報モラル教育

2016年3月、KDDIとKDDI研究所は「INAGAWA スマホサミット2016」にて、兵庫県猪名川町の高校生らとのコラボアプリ「勉強うながしホーム(猪名川町青少年健全育成推進会議コラボ版)」を発表しました。スマートフォンのホーム画面を「勉強モード」に切り替えることで勉強に集中できるようサポートするアプリで、青少年のスマートフォン長時間利用の問題に対し、フィルタリングや利用時間制限のような「制限」ではなく、青少年の自律的な行動を促すという新しいアプローチを採用しました。今後は、このアプローチの有効性を評価していきます。



アプリについて検討する高校生

